

平成 29 年度  
仙台市カジカガエル生息調査

業 務 報 告 書

平成 29 年 9 月

仙 台 市



# 目 次

1 調査概要	1
1-1 名称	1
1-2 目的	1
1-3 対象地域	1
1-4 調査期間	1
1-5 調査内容	1
2 調査結果	3
2-1 現地調査地点の選定	3
2-2 現地調査の結果	6
2-3 市民から寄せられたカジカガエルの生息情報	39
2-4 市内におけるカジカガエルの生息確認位置	41
2-5 カジカガエルの鳴き声の録音結果	44
2-6 ドローンによる動画撮影の結果	45
3 考察	48
3-1 カジカガエルの繁殖について	48
3-2 市内におけるカジカガエルの生息状況	51
3-3 自然体験の場としての評価	53
3-4 カジカガエルの保全に向けて	54
資料編	
詳細図用の索引図	
現地調査によるカジカガエル確認位置図	
市内におけるカジカガエル確認位置図	
自然体験の場としての評価	



## 1 調査概要

### 1-1 名称

平成29 年度仙台市カジカガエル生息調査業務

### 1-2 目的

日本の固有種で、清流の環境指標種でもあるカジカガエルは、その美しい鳴き声から「広瀬川のカジカガエルと野鳥」として「日本の残したい音風景100 選（環境省）」に選定されている。

市民の生きものへの関心や愛着を深め、生物多様性の保全を図るため、本種やその生息地である里地里山の魅力を発信する啓発事業（生物多様性保全推進事業）を実施するにあたり、その基礎資料として活用するため、市域におけるカジカガエルの最新の生息状況を把握することを目的とする。

### 1-3 対象地域

仙台市全域

### 1-4 調査期間

平成29年4月11日～同年9 月29 日

### 1-5 調査内容

#### (1) 調査方法

・ 航空写真によりカジカガエルの生息地として良好と思われる地点や、過去にカジカガエルの生息が確認された地点について、「調査候補地点」として抽出した。「調査候補地点」は、名取川、広瀬川、七北田川の各水系15 地点以上、計56 地点を抽出した。

・ 「現地調査候補地点」の中から、以下の基準により、「現地調査地点」として計30 地点を選定した。

- ①可能な限り市域全域を把握できるように調査地点を配置する。
- ②市民が足を運ぶことを想定し、アクセスが比較的容易な地点を抽出する。
- ③周辺施設へのヒアリング等により確認が可能な地点は除く。

#### (2) 現地調査

(1) により選定した「現地調査地点」において、以下の項目について、カジカガエルの生息及び生息環境の確認を行った。調査は、カジカガエルがよく鳴く時期・時間帯を考慮の上、行った。

なお、鳴き声が確認された場合には録音を行うとともに、可能な場合には個体の写真

を撮影した。

(調査項目)

- ・カジカガエルの生息の有無及び概数（目視又は鳴き声による）
- ・調査地点の環境（カジカガエルの生息環境としての評価を含む）
- ・自然体験の場としての活用の可能性（アクセス性、親水性）
- ・カジカガエル以外の生きものの確認状況等

### (3) ドローンを用いた生息地環境の撮影

(2) の調査結果を踏まえ、自然体験の場として活用が可能であり、かつ、カジカガエルの生息地として最も良い環境だと考えられる1地点において、ドローンを用いた生息地環境の撮影を行った。

### (4) 報告書作成

調査結果等について、以下のとおり整理した。

なお、市ホームページ等を通じて、市内におけるカジカガエルの生息情報を募り、平成29年5月～同年7月までに寄せられた情報についても、合わせて整理した。

- ①調査候補地点及び現地調査地点の位置及び状況等
- ②現地調査結果（地点ごとの詳細な調査結果を含む）
- ③市民から寄せられたカジカガエルの生息情報
- ④鳴き声の録音結果
- ⑤ドローンによる動画撮影の結果
- ⑥調査結果等を踏まえた考察

## 2 調査結果

### 2-1 現地調査地点の選定

現地調査にあたり、広瀬川、名取川、七北田川の各水系において、過去のカジカガエルの生息情報や航空写真を基に、「現地調査候補地点」として56地点を抽出した。

これらの中から、アクセス性や周辺施設の状況等により、30地点を「現地調査地点」として選定した。「現地調査候補地点」及び「現地調査地点」の一覧を表2-1に、位置図を図2-1に示す。

表2-1(1) カジカガエルの現地調査候補地点と現地調査実施地点

連番	地点名	座標	過去の生息情報	アクセス性	周辺施設	現地調査地点
1	広1	38.235184, 140.889692	有り	容易、車は困難		1
2	広2		有り	容易、車は困難	片平市民センター	実施しない
3	広3		有り	容易、車可	東北大学植物園	実施しない
4	広4	38.266446, 140.858643	付近に有り	容易、車可		2
5	広5	38.26944, 140.841361	有り	容易、車可		3
6	広6	38.266131, 140.814602	有り	容易、車可		4
7	広7		有り	容易、車可		実施しない
8	広8	38.278572, 140.763824	無し	容易、車可		5
9	広9		無し	容易、車可		実施しない
10	広10	38.276646, 140.726653	無し	容易、車可		6
11	広11	38.280794, 140.701419	無し	容易、車可		7
12	広12		無し	容易、車可	宮城西市民センター	実施しない
13	広13	38.316462, 140.707717	無し	容易、車可		8
14	広14		上流側に有り	容易、車可		実施しない
15	広15	38.369507, 140.662476	下流側に有り	容易、車可		9
16	広16		上流側に有り	容易、車可		実施しない
17	広17	38.315774, 140.66991	有り	容易、車可		10
18	広18		有り	容易、車可		実施しない
19	広19	38.304188, 140.662887	無し	容易、車可		11
20	広20	38.305789, 140.629236	無し	容易、車可		12
21	広21	38.31861, 140.624202	無し	容易、車可		13
22	広22	38.328888, 140.602832	無し	容易、車可		14
23	広23		無し	容易、車可	作並湯ノ駅 Lasanta	実施しない
24	名1		無し	容易、車可		実施しない
25	名2	38.208628, 140.841732	有り	容易、車可		15
26	名3		有り	容易、車可	生出市民センター	実施しない
27	名4	38.226017, 140.78171	無し	容易、車可		16
28	名5	38.215018, 140.756643	有り	容易、車可		17
29	名6		無し	容易、車可	秋保・里センター、湯元市民センター	実施しない
30	名7		無し	容易、車可		実施しない
31	名8	38.244592, 140.692276	下流側に有り	容易、車可		18
32	名9		無し	容易、車可		実施しない
33	名10		有り	容易、車可	秋保市民センター	実施しない
34	名11	38.267915, 140.650005	無し	容易、車可		19
35	名12	38.269334, 140.624266	無し	容易、車可		20

表2-1(2) カジカガエルの現地調査候補地点と現地調査実施地点

連番	地点名	座標	過去の 生息情報	アクセス性	周辺施設	現地調査 地点
36	名 13		上流側に有り	容易、車可	秋保大滝植物園	実施しない
37	名 14	38.272924, 140.567989	上流側に有り	容易、車可		21
38	名 15		上流側に有り	徒歩		実施しない
39	名 16		下流側に有り	容易、車可		実施しない
40	名 17		無し	容易、車可		実施しない
41	七 1		無し	容易		実施しない
42	七 2	38.320704, 140.85961	無し	容易、車可		22
43	七 3		無し	容易、車可		実施しない
44	七 4	38.329285, 140.810711	付近に有り	容易、車可		23
45	七 5		無し	容易、車可		実施しない
46	七 6	38.334226, 140.779654	無し	容易、車可		24
47	七 7	38.347935, 140.799615	付近に有り	容易、車可		25
48	七 8	38.355302, 140.783833	無し	容易、車可		26
49	七 9		無し	容易、車可		実施しない
50	七 10		無し	容易、車可		実施しない
51	七 11	38.363341, 140.756161	無し	容易、車可		27
52	七 12	38.389967, 140.776262	やや下流に 有り	容易、車可		28
53	七 13	38.385312, 140.750174	無し	容易、車可		29
54	七 14	38.366677, 140.71197	無し	容易、車可		30
55	七 15		無し	やや難		実施しない
56	七 16		無し	容易、車可		実施しない

※網がけは現地調査を実施しない地点である。



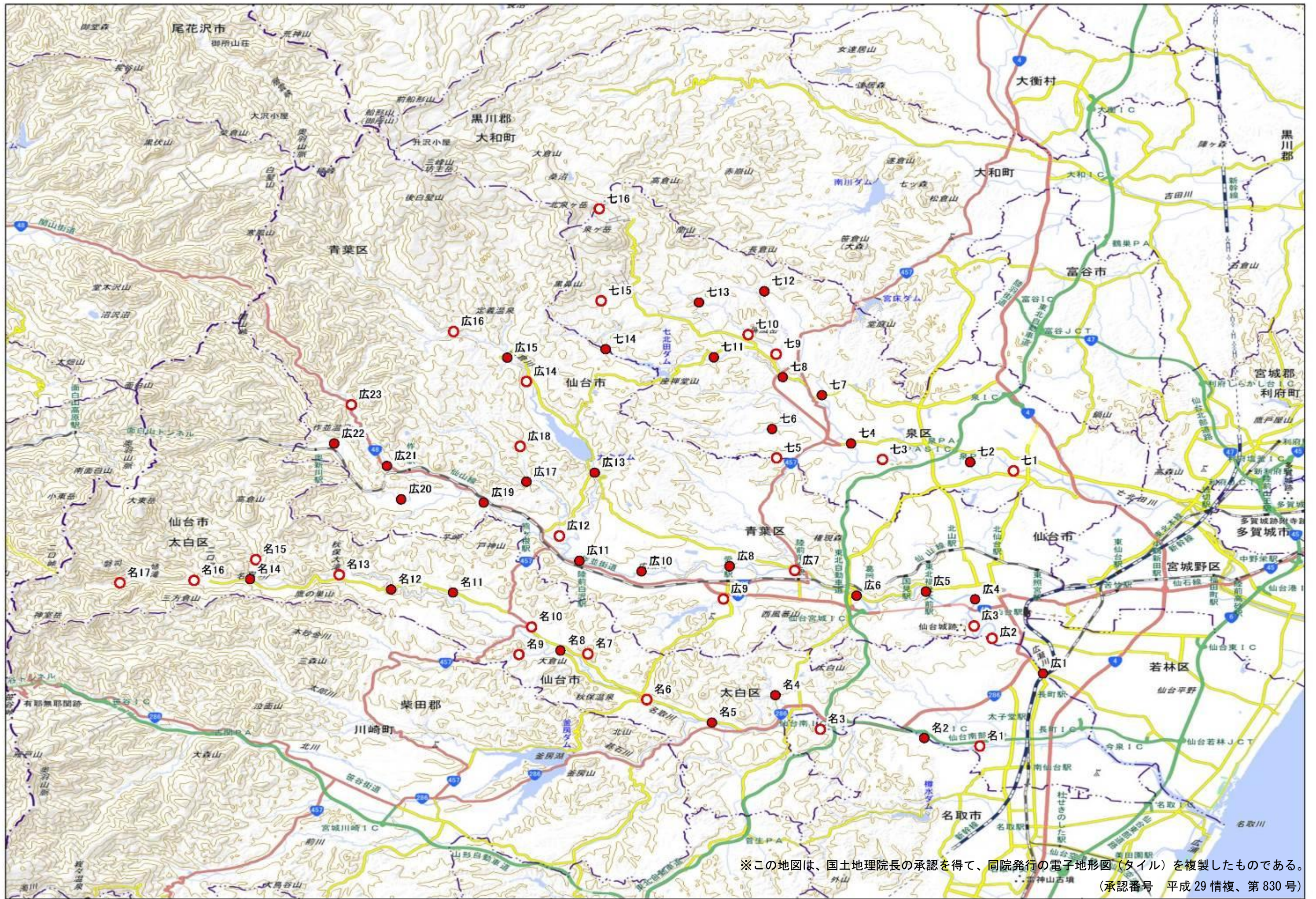


図 2-1 現地調査候補地点と現地調査実施地点

○ 現地調査候補地点 ● 現地調査実施地点

## 2-2 現地調査の結果

現地調査の結果、カジカガエルの生息が確認された地点は、30地点中18地点であった。調査結果を表2-2及び図2-2に、地点ごとの詳細な調査結果については、表2-3～表2-32に示す。

水系ごとの内訳では、広瀬川における確認が最も多く、14地点中12地点で生息が確認された。次いで名取川水系（7地点中4地点）、七北田川水系（9地点中2地点）の順であった。

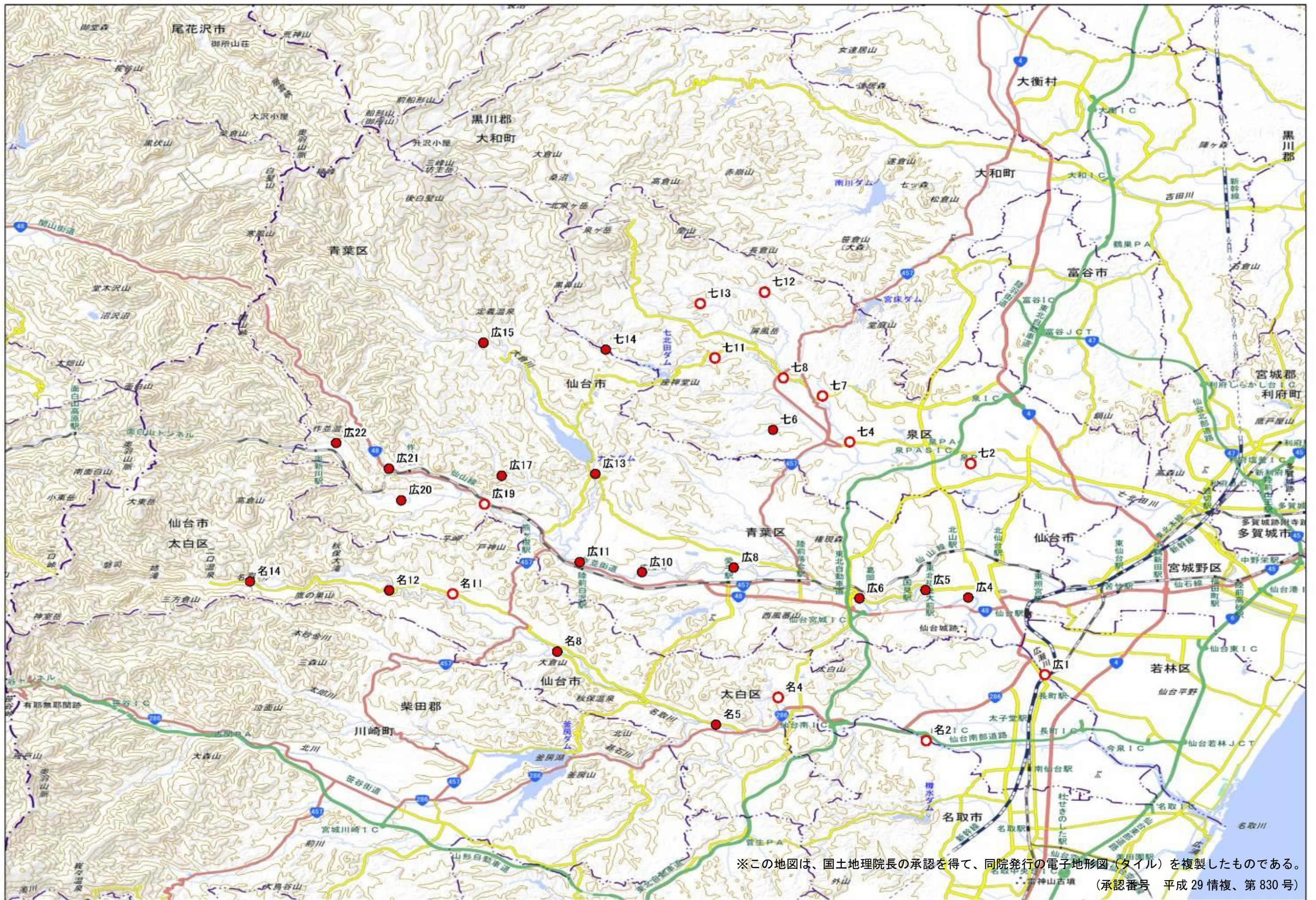
表2-2(1) カジカガエル生息確認調査結果一覧

水系	地点番号	地名等	カジカガエル確認状況		調査実施日		座標
			鳴き声	目視	1回目	2回目	
広瀬川	広1	若林区河原町、 広瀬橋下流	-	-	2017/5/20	2017/7/14	38.235184, 140.889692
	広4	青葉区川内澱橋通、 澱橋下流	5	-	2017/6/9		38.266446, 140.858643
	広5	青葉区八幡、牛越橋上流	6	-	2017/6/9		38.26944, 140.841361
	広6	青葉区折立	2	-	2017/6/9		38.266131, 140.814602
	広8	青葉区愛子中央、 開成橋	3	-	2017/6/4		38.278572, 140.763824
	広10	青葉区上愛子、 柿崎橋付近	1	-	2017/6/4		38.276646, 140.726653
	広11	青葉区上愛子、 陸前白沢駅付近	1	-	2017/6/4		38.280794, 140.701419
	広13	青葉区大倉新天狗橋 付近	4	-	2017/5/20		38.316462, 140.707717
	広15	青葉区大倉定義、 湯川合流部付近	-	3	2017/5/20		38.369507, 140.662476
	広17	青葉区大倉青下川	-	1	2017/5/20		38.315774, 140.66991
	広19	青葉区作並セイコウ大橋 付近	-	-	2017/6/4	2017/7/14	38.304188, 140.662887
	広20	青葉区新川新川川	4	2	2017/6/4		38.305789, 140.629236
	広21	青葉区作並、相生橋 付近	4	-	2017/6/4		38.31861, 140.624202
	広22	青葉区新川、北沢南沢の 合流点付近	6	-	2017/6/4		38.328888, 140.602832
名取川	名2	太白区富田、名取川頭首工 下流	-	-	2017/5/7	2017/6/25	38.208628, 140.841732
	名4	太白区茂庭本郷付近	-	-	2017/5/7	2017/6/25	38.226017, 140.78171
	名5	太白区茂庭、赤石橋下流	6	-	2017/5/7		38.215018, 140.756643

表2-2(2) カジカガエル生息確認調査結果一覧

水系	地点番号	地名等	カジカガエル確認状況		調査実施日		座標
			鳴き声	目視	1回目	2回目	
名取川	名 8	太白区秋保町境界野羽山付近	10	10	2017/5/7		38.244592, 140.692276
	名 11	太白区秋保町長袋、小滝沢橋付近	-	-	2017/6/3	2017/7/14	38.267915, 140.650005
	名 12	太白区秋保町馬場、深野橋上流	2	2	2017/6/3		38.269334, 140.624266
	名 14	太白区秋保町馬場、穴戸沢合流部付近	5	-	2017/6/9		38.272924, 140.567989
七北田川	七 2	泉区上谷刈、長命橋	-	-	2017/5/19	2017/6/26	38.320704, 140.85961
	七 4	泉区小角、鼻毛橋付近	-	-	2017/5/19	2017/6/26	38.329285, 140.810711
	七 6	泉区西田中、西田中川	2	-	2017/5/19		38.334226, 140.779654
	七 7	泉区根白石、根白石中学校付近	-	-	2017/5/19	2017/6/26	38.347935, 140.799615
	七 8	泉区福岡、長谷倉川との合流部付近	-	-	2017/5/19	2017/6/26	38.355302, 140.783833
	七 11	泉区福岡、七北田ダム下流	-	-	2017/5/19	2017/6/26	38.363341, 140.756161
	七 12	泉区朴沢、長谷倉川支流	-	-	2017/5/19	2017/6/26	38.389967, 140.776262
	七 13	泉区福岡、清川	-	-	2017/5/20	2017/6/26	38.385312, 140.750174
	七 14	泉区福岡、七北田ダム上流	4	-	2017/6/11		38.366677, 140.71197

※1回目の調査で確認できなかった地点については、時期をずらし、2回目の調査を行った。



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。  
 (承認番号 平成 29 情複、第 830 号)



図2-2 現地調査によるカジカガエル確認地点 ● 生息あり ○ 生息なし

表2-3 カジカガエル生息確認調査結果(広1)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広1	若林区河原町、広瀬橋下流	2017年5月20日、5:20~6:00	晴れ
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有 台可・無)、観察会収容人数 (20人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	市街化区域を流れる大河川。石の突き出た瀬と礫河原があるが、周囲の樹林からは孤立している。幼生が流れて来て一時的に定着することはあるかもしれないが、カジカガエルが恒常的に生息するのは難しいと考えられる。 オオヨシキリ、スズメ、ハシブトガラス、マガモ、セグロセキレイ、ツバメ、モズ、ウミネコ、アオサギ、ハクセキレイを確認			

写真



表 2-4 カジカガエル生息確認調査結果(広 4)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広 4	青葉区川内澱橋通、澱橋下流	2017 年 6 月 9 日、7:10~7:40	晴れ
生息	有り	鳴き声 (5 ) ・ 目撃 (成体： 幼体： 幼生： 卵： )		
生息環境		石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適中・やや不適・不適)		
アクセス性		アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有 台可 (無)、観察会収容人数 ( 30 人)		
親水性		景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)		
備考		市街化区域を流れる大河川。石の突き出た瀬と礫河原があり、小規模ながら一部河岸の樹林と連続している。カジカガエルの生息場所としてまずまずの環境である。 ヒヨドリ、コゲラ、キジバト、ウグイス、スズメ、ハシブトガラス、セグロセキレイ、トビ、カルガモ、ツバメ、イカルチドリ、ウミネコ、ハクセキレイを確認		

写真



表2-5 カジカガエル生息確認調査結果(広5)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広5	青葉区八幡、牛越橋上流	2017年6月9日、8:00~8:50	晴れ
生息	有り	鳴き声(6 )・目撃(成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬(多・中(少)・無)、石河原(有)・無)、周辺樹林との繋がり(有)・無)、水質(良(中)・不良)、護岸(有・(一部)有・無)、総合判定(最適(適)中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ(良(中)・不良)、鳴き声確認のしやすさ(良)・中・不良)、駐車スペース(有)50~60台可・無)、観察会収容人数(30人)			
親水性	景観(良(中)・不良)、騒音(多)・中・少)			
備考	市街化区域を流れる大河川。石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境である。 トビ、ウミネコ、ヒヨドリ、ウグイス、スズメ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ホトトギス、セグロセキレイ、カワラヒワ、ツバメ、メジロ、アオゲラ、カワセミ、ガビチョウを確認			

写真



表2-6 カジカガエル生息確認調査結果(広6)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広6	青葉区折立	2017年6月9日、9:15~10:00	晴れ
生息	有り	鳴き声(2 )・目撃(成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境		石の突き出た瀬(多・中・少・無)、石河原(有・無)、周辺樹林との繋がり(有・無)、水質(良・中・不良)、護岸(有・一部有・無)、総合判定(最適・適・中・やや不適・不適)		
アクセス性		アプローチ(良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ(良・中・不良)、駐車スペース(有 台可・無)、観察会収容人数(15人)		
親水性		景観(良・中・不良)、騒音(多・中・少)		
備考		市街化区域を流れる大河川。石の突き出た瀬が多く、礫河原もあり、周囲の樹林とも連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境である。 ウミネコ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、ツバメ、シジュウカラ、ホトトギス、スズメ、コゲラを確認		

写真





表2-7 カジカガエル生息確認調査結果(広8)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広8	青葉区愛子中央、開成橋付近	2017年6月4日、16:08~16:55	晴れ
生息	有り	鳴き声(3 )・目撃(成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬(多・中(少)・無)、石河原(有)・無)、周辺樹林との繋がり(有)・無)、水質(良(中)・不良)、護岸(有・(一部)有・無)、総合判定(最適・適(中)・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ(良・中(不良)、鳴き声確認のしやすさ(良(中)・不良)、駐車スペース(有) 2~3 台可・無)、観察会収容人数( 0 人)			
親水性	景観(良・中(不良)、騒音(多)・中・少)			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも連続している。カジカガエルの生息場所としてまずまずの環境である。ただし、河川沿いにイノシシ用の侵入防止柵が張り巡らされており、河川へのアプローチは困難な状況である。 スズメ、ウグイス、ホオジロ、ハクセキレイ、ツバメ、カワウ、ウミネコ、ハシブトガラス、トビを確認			

写真



表2-8 カジカガエル生息確認調査結果(広10)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広 10	青葉区上愛子、柿崎橋付近	2017年6月4日、15:15～15:45	曇り
生息	有り	鳴き声 ( 1 ) ・ 目撃 (成体： 幼体： 幼生： 卵： )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中 (少)・無)、 石河原 (有)・無)、 周辺樹林との繋がり (有)・無)、 水質 (良 (中)・不良)、 護岸 (有・一部有 (無)、 総合判定 (最適 (適) 中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良 (中)・不良)、 鳴き声確認のしやすさ (良・中 (不良)、 駐車スペース (有) 5 台可・無)、 観察会収容人数 ( 5人)			
親水性	景観 (良・中 (不良)、 騒音 (多・中 (少)			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも広く連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境と思われるが、両岸が断崖で水面までの距離があり、鳴き声は聞きづらい。 イワツバメ、アマツバメ、トビ、マガモ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、カワウ、シジュウカラを確認			

写真



表2-9 カジカガエル生息確認調査結果(広11)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広 11	青葉区上愛子、陸前白沢駅付近	2017年6月4日、14:25～15:00	曇り
生息	有り	鳴き声 ( 1 ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中 (少)・無)、石河原 (有)・無)、周辺樹林との繋がり (有)・無)、水質 (良)・中・不良)、護岸 (有・一部有)・無)、総合判定 (最適・適 (中)・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良 (中)・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良 (中)・不良)、駐車スペース (有 台可 (無)、観察会収容人数 ( 15人)			
親水性	景観 (良)・中・不良)、騒音 (多・中 (少)			
備考	石の突き出た瀬や礫河原が少なく水深が総じて深い。周囲の樹林とは広く連続している。カジカガエルは生息しているが、水深が深く幼生の生息環境として不向きであることや、石の突き出た瀬が少ないことから、生息数はあまり多くないと考えられる。 ヒヨドリ、ツバメ、ハシブトガラス、カワウ、アオゲラ、ヤマガラ、カワラヒワ、オオルリ、カワガラス、エナガ、シジュウカラ、イワツバメを確認			

写真



表2-10 カジカガエル生息確認調査結果(広13)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広 13	青葉区大倉、新天狗橋付近	2017年5月20日、17:00~17:40	晴れ
生息	有り	鳴き声 ( 4 ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中 (少・無) )、石河原 (有・無) )、周辺樹林との繋がり ((有・無) )、水質 (良 (中)・不良) )、護岸 (有・一部有・無) )、総合判定 (最適・適 (中)・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中 (不良) )、鳴き声確認のしやすさ (良 (中)・不良) )、駐車スペース (有) 2 台可 (無) )、観察会収容人数 ( 15 人)			
親水性	景観 (良 (中)・不良) )、騒音 (多 (中)・少)			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも広く連続している。谷が深いため水面まで光が届きにくい箇所があり、カジカガエルの幼生の餌が育ちにくい可能性があるが、生息環境としてはまずまずの状況である。ただし、両岸が断崖で水面までのアプローチが困難であり、鳴き声は聞きづらい。 ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、サンショウクイ、オオルリ、キビタキ、キセキレイ、メジロ、コゲラ、イカル、カルガモ、カワラヒワ、ノスリ、カワウ、ホオジロ、アオゲラを確認			

写真



表2-11 カジカガエル生息確認調査結果(広15)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広 15	青葉区大倉定義、湯川合流部付近	2017年5月20日、18:05~19:00	晴れ
生息	有り	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体:3 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 50 台可・無)、観察会収容人数 ( 30 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも広く連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境である。ただし、川までの距離があり、水面まで降りるルートも無いため鳴き声は聞きづらい。 ガビチョウ、イワツバメ、カワガラスを確認			

写真



表2-12 カジカガエル生息確認調査結果(広17)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広 17	青葉区大倉、青下川	2017年5月20日、15:35～16:50	晴れ
生息	有り	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体:1 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 5 台可・無)、観察会収容人数 ( 10 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	岩盤質の瀬が多く、石の突き出ている箇所は少ない。礫河原は少し見られ、周囲の樹林とは広く連続している。樹陰により水面まで光が届きにくい箇所があり、カジカガエルの幼生の餌が育ちにくい可能性があるが、生息環境としてはまずまずの状況である。 ヒヨドリ、サンショウクイ、キセキレイ、トビ、メジロ、オシドリ、ヤマガラ、キジバト、ホオジロ、ノスリ、ウグイス、カワセミを確認			

写真



表2-13 カジカガエル生息確認調査結果(広19)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広 19	青葉区作並、セイコウ大橋付近	2017年6月4日、13:09~13:45	曇り
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良) 中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適 (中) やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 10 台可・無)、観察会収容人数 ( 10 人)			
親水性	景観 (良 (中) 不良)、騒音 (多 (中) 少)			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも広く連続している。カジカガエルの生息し得る良好な環境と思われるが、兩岸が断崖で水面までのアプローチが困難であり、鳴き声は聞きづらい。 キセキレイ、カワガラス、ツバメ、ヒヨドリ、ハシボソガラス、トビを確認			

写真



表2-14 カジカガエル生息確認調査結果(広20)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広 20	青葉区新川、新川川	2017年6月4日、11:30~12:00	曇り
生息	有り	鳴き声 ( 4 ) ・ 目撃 (成体:2 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・ <b>中</b> ・少・無)、石河原 ( <b>有</b> ・無)、周辺樹林との繋がり ( <b>有</b> ・無)、水質 ( <b>良</b> ・中・不良)、護岸 (有・一部有・ <b>無</b> )、総合判定 ( <b>最適</b> ・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・ <b>不良</b> )、鳴き声確認のしやすさ (良・ <b>中</b> ・不良)、駐車スペース (有 台可 <b>無</b> )、観察会収容人数 ( 10人)			
親水性	景観 ( <b>良</b> ・中・不良)、騒音 (多・中・ <b>少</b> )			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも広く連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境である。ただし、川原まで降りるルートが無くアクセス性は良くない。アオゲラ、アマツバメ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、イワツバメ、コゲラ、シジュウカラ、キセキレイ、ノスリを確認			

写真





表2-15 カジカガエル生息確認調査結果(広21)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広 21	青葉区作並、相生橋付近	2017年6月4日、10:40~11:20	晴れ
生息	有り	鳴き声 ( 4 ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 30 台可・無)、観察会収容人数 ( 30 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境である。水際までの距離が近く河川にも下りやすいが、国道沿いのため自動車の走行音があり、鳴き声は聞こえにくい。 ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、サンショウクイ、オオルリ、キビタキ、キセキレイ、メジロ、コゲラ、イカル、カルガモ、カワラヒワ、ノスリ、カワウ、ホオジロ、アオゲラを確認			

写真



表2-16 カジカガエル生息確認調査結果(広22)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
広瀬川	広 22	青葉区新川、北沢南沢の合流点付近	2017年6月4日、9:05~10:10	晴れ
生息	有り	鳴き声 ( 6 ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・ <b>中</b> ・少・無)、石河原 ( <b>有</b> ・無)、周辺樹林との繋がり ( <b>有</b> ・無)、水質 ( <b>良</b> ・中・不良)、護岸 (有・一部有 <b>無</b> )、総合判定 ( <b>最適</b> ・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ ( <b>良</b> ・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良 <b>中</b> ・不良)、駐車スペース ( <b>有</b> ) 13 台可・無)、観察会収容人数 ( 15 人)			
親水性	景観 (良 <b>中</b> ・不良)、騒音 (多・ <b>中</b> ・少)			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも広く連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境である。車でアプローチするには未舗装林道が長い、仙山線の奥新川駅からは比較的近く、電車を利用してのアクセスには便利な場所である。川へのアクセスも容易で、トイレと東屋があり、観光客が多い。 オオムシクイ、ヒヨドリ、ミソサザイ、ハシブトガラス、ウグイス、ジュウイチ、ニホンザル(糞)を確認			

写真



表2-17 カジカガエル生息確認調査結果(名2)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
名取川	名2	太白区富田、名取川頭首工下流	2017年5月7日、16:00~16:45	晴れ
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多 (中)・少・無)、 石河原 (有)・無)、 周辺樹林との繋がり ((有)・無)、 水質 (良 (中)・不良)、 護岸 (有・(一部)有・無)、 総合判定 (最適・適 (中)・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ ((良)・中・不良)、 鳴き声確認のしやすさ ((良)・中・不良)、 駐車スペース (有) 8 台可・無)、 観察会収容人数 ( 30 人)			
親水性	景観 ((良)・中・不良)、 騒音 (多 (中)・少)			
備考	快濶な大河川で石の突き出た瀬と礫河原があり、河岸の樹林とも連続している。カジカガエルが生息し得る環境ではあるが、調査時には確認出来なかった。 セグロセキレイ、ハクセキレイ、カルガモ、イカルチドリ、イソシギ、アオサギ、カワウ、ガビチョウ、イワツバメ、ウグイス、オオヨシキリ、ダイサギ、ツバメ、ヒヨドリ、コゲラ、トビ、アオジ、アマツバメ、キジを確認			

写真



表2-18 カジカガエル生息確認調査結果(名4)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
名取川	名4	太白区茂庭、本郷付近	2017年5月7日、15:10~15:35	晴れ
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有 台可・無)、観察会収容人数 ( 5人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	水量が乏しく伏流しており、ほとんど流れが無い状態であった。カジカガエルの生息は困難と考えられる。 ハシブトガラス、ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、ウグイスを確認			

写真



表2-19 カジカガエル生息確認調査結果(名5)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
名取川	名5	太白区茂庭、赤石橋下流	2017年5月7日、13:40~14:50	晴れ
生息	有り	鳴き声 ( 6 ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適 (適)・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 20 台可 (無)、観察会収容人数 ( 20 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境である。水際まで下りやすく、アクセス性は良い。 メジロ、キジバト、ミサゴ、セグロセキレイ、カワウ、カルガモ、ハシボソガラス、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイスを確認			

写真



表2-20 カジカガエル生息確認調査結果(名8)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
名取川	名8	太白区秋保町境野羽山付近	2017年5月7日、12:50~13:15	晴れ
生息	有り	鳴き声(10)・目撃(成体:10 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬(多・ <b>中</b> ・少・無)、石河原( <b>有</b> ・無)、周辺樹林との繋がり( <b>有</b> ・無)、水質(良・ <b>中</b> ・不良)、護岸(有・一部有・ <b>無</b> )、総合判定( <b>最適</b> ・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ( <b>良</b> ・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ( <b>良</b> ・中・不良)、駐車スペース( <b>有</b> ) 20台可・無)、観察会収容人数(15人)			
親水性	景観( <b>良</b> )中・不良)、騒音(多・中・ <b>少</b> )			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、流れも変化に富んでいる。周囲の樹林とも広く連続している。カジカガエルの生息数も多く、生息場所として良好な環境である。近くに公衆トイレ、駐車場があり、川遊びやバーベキュー等の行楽客が訪れる可能性が高い。 エナガ、カワラヒワ、トビ、ハシブトガラス、コゲラ、ウグイス、アオゲラ、ヒヨドリ、ヤマセミを確認			

写真



表2-21 カジカガエル生息確認調査結果(名11)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
名取川	名 11	太白区秋保町長袋、小滝沢橋付近	2017年6月3日、15:30~16:00	曇り
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境		石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)		
アクセス性		アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 20 台可・無)、観察会収容人数 ( 20 人)		
親水性		景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)		
備考		支流の小河川。石の突き出た瀬があり、周囲の樹林と広く連続しているが、水面が完全に鬱閉して光が届きにくい状態であり、カジカガエルの幼生の餌となる付着藻類は育ちにくい環境であり、カジカガエルの生息はやや難しい状況と考えられる。 ハシブトガラス、ツバメ、カワラヒワ、ヒヨドリを確認		

写真



表2-22 カジカガエル生息確認調査結果(名12)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
名取川	名 12	太白区秋保町馬場、深野橋上流	2017年6月3日、16:30~17:20	晴れ
生息	有り	鳴き声 ( 2 ) ・ 目撃 (成体:2 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 20 台可・無)、観察会収容人数 ( 20 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、流れも変化に富んでいる。周囲の樹林とも広く連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境である。近くに公衆トイレ、駐車場があり、川遊びやバーベキュー等の行楽客が訪れる可能性が高い。 ガビチョウ、ウグイス、キセキレイ、ヒヨドリ、メジロ、カワウ、カワガラス、ハシブトガラスを確認			

写真





表2-23 カジカガエル生息確認調査結果(名14)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
名取川	名 14	太白区秋保町馬場、穴戸沢合流部付近	2017年6月9日、12:50~13:15	晴れ
生息	有り	鳴き声 ( 5 ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 5 台可・無)、観察会収容人数 ( 10 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	石の突き出た瀬と礫河原があり、周囲の樹林とも広く連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境である。昼野橋東側に川に降りるルートがあり、アクセス性がよく、交通量もさほど多くないので鳴き声も聞きやすい。 ウグイス、ヒヨドリ、ホトトギス、トビ、サシバ、ツツドリ、ヤマセミ、ニホンザル(糞)を確認			

写真



表2-24 カジカガエル生息確認調査結果(七2)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
七北田川	七2	泉区上谷刈、長命橋付近	2017年5月19日、9:50~10:15	晴れ
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 5 台可・無)、観察会収容人数 ( 15 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	石の突き出た瀬は多くないが、礫河原があり、周囲の樹林とも連続している。水質は上流部の工事の影響で濁り気味である。濁りさえなければカジカガエルの生息の可能性も考えられる環境ではあるが、調査時に確認は出来なかった。 ヒヨドリ、カルガモ、ヒバリ、ウグイス、キジ、ハクセキレイ、スズメ、シジュウカラ、ハシボソガラス、カワセミを確認			

写真



表2-25 カジカガエル生息確認調査結果(七4)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
七北田川	七4	泉区小角、鼻毛橋付近	2017年5月19日、10:40~11:00	晴れ
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 2 台可・無)、観察会収容人数 ( 10 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	石の突き出た瀬や礫河原があり、周囲の樹林とも連続している。水質はやや濁り気味である。濁りさえなくなればカジカガエルが生息し得る環境であるが、調査時に確認は出来なかった。 スズメ、トビ、ハクセキレイ、ツバメ、ハシボソガラス、キジを確認			

写真



表2-26 カジカガエル生息確認調査結果(七6)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
七北田川	七6	泉区西田中、西田中川	2017年5月19日、11:20~12:05	晴れ
生息	有り	鳴き声 ( 2 ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 5 台可・無)、観察会収容人数 ( 10 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	水田地帯と山間部を流れる区間の推移帯にあたる小河川。下流側は護岸されているが、上流側は自然河岸で、石の突き出た瀬や礫河原があり、周囲の樹林とも連続している。当概地点よりも上流側はカジカガエルの生息条件が整っているが、河川が小規模なので生息数は多くないと思われる。小規模な河川なので川には下りやすくアクセス性は良い。静かな環境なので鳴き声も聞きやすい。 ハクセキレイ、ヒヨドリ、キジ、カワラヒワ、シジュウカラ、セグロセキレイを確認			

写真



表2-27 カジカガエル生息確認調査結果(七七)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
七北田川	七七	泉区根白石、根白石中学校付近	2017年5月19日、12:25~12:40	晴れ
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 2 台可・無)、観察会収容人数 ( 15 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	農耕地を流れる小河川で、両岸が護岸されている。石の突き出た瀬が少しあるが、周囲の樹林からは離れている。カジカガエルの生息は難しい状況と思われる。 スズメ、キジ、ツバメ、ハシブトガラスを確認			

写真



表2-28 カジカガエル生息確認調査結果(七8)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
七北田川	七8	泉区福岡、長谷倉川との合流部付近	2017年5月19日、12:55~13:15	晴れ
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有) 5 台可・無)、観察会収容人数 ( 10 人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	石の突き出た瀬や礫河原があり、周囲の樹林とも一部連続している。河道内の護岸工事中で、水質はやや濁り気味であった。工事が終わればカジカガエルが生息し得る環境であるが、調査時に確認は出来なかった。 カワウ、キジ、カワラヒワ、スズメ、ハクセキレイ、イワツバメ、カルガモ、セグロセキレイ、ウグイスを確認			

写真



表2-29 カジカガエル生息確認調査結果(七11)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
七北田川	七11	泉区福岡、七北田ダム下流	2017年5月19日、13:30~13:55	晴れ
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・中・少・無)、石河原 (有・無)、周辺樹林との繋がり (有・無)、水質 (良・中・不良)、護岸 (有・一部有・無)、総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ (良・中・不良)、駐車スペース (有 台可・無)、観察会収容人数 ( 0人)			
親水性	景観 (良・中・不良)、騒音 (多・中・少)			
備考	七北田ダム下流で、両岸が断崖になっている。石の突き出た瀬や礫河原が少しあり、周囲の樹林とも連続している。谷が深いため水面まで光が届きにくい箇所があり、カジカガエルの幼生の餌が育ちにくい可能性がある。カジカガエルの生息環境としてはまずまずの状況であるが、調査時に確認は出来なかった。イノシシ除けの防護柵が張り巡らされており、河川へのアプローチは困難である。 サンショウクイ、ヒヨドリ、ウグイスを確認			

写真



表2-30 カジカガエル生息確認調査結果(七12)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
七北田川	七12	泉区朴沢、長谷倉川支流	2017年5月19日、15:05~15:30	晴れ
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多・ <b>中</b> ・少・無)、石河原 ( <b>有</b> ・無)、周辺樹林との繋がり ( <b>有</b> ・無)、水質 ( <b>良</b> ・中・不良)、護岸 (有・一部有・ <b>無</b> )、総合判定 (最適・適・中・やや不適・ <b>不適</b> )			
アクセス性	アプローチ ( <b>良</b> ・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ ( <b>良</b> ・中・不良)、駐車スペース ( <b>有</b> ) 5 台可・無)、観察会収容人数 ( 10 人)			
親水性	景観 (良・ <b>中</b> ・不良)、騒音 (多・中・ <b>少</b> )			
備考	長谷倉川支流の小河川。石の突き出た瀬が多く、礫河原があり、周囲の樹林とも連続しているが、水面が完全に鬱閉した状態であり、カジカガエルの幼生の餌となる付着藻類は育ちにくい環境である。水量も僅かで夏季には渇水の可能性があり、カジカガエルの生息はやや難しい状況と思われる。 キビタキを確認			

写真





表2-31 カジカガエル生息確認調査結果(七13)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
七北田川	七13	泉区福岡、清川	2017年5月20日、17:00~17:40	晴れ
生息	無し	鳴き声 ( ) ・ 目撃 (成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬 (多 (中)・少・無)、 石河原 (有)・無)、 周辺樹林との繋がり (有)・無)、 水質 (良)・中・不良)、 護岸 (有・一部有)・無)、 総合判定 (最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ (良 (中)・不良)、 鳴き声確認のしやすさ (良 (中)・不良)、 駐車スペース (有 台可)・無)、 観察会収容人数 ( 5人)			
親水性	景観 (良 (中)・不良)、 騒音 (多・中 (少))			
備考	山間の小渓流で、石の突き出た瀬が多く、礫河原があり、周囲の樹林とも連続しているが、水面が鬱閉した箇所が多く、カジカガエルの幼生の餌となる付着藻類はやや育ちにくい可能性がある。カジカガエルの生息の可能性も考えられる環境ではあるが、調査時に確認は出来なかった。 ヒヨドリ、ホオジロを確認			

写真

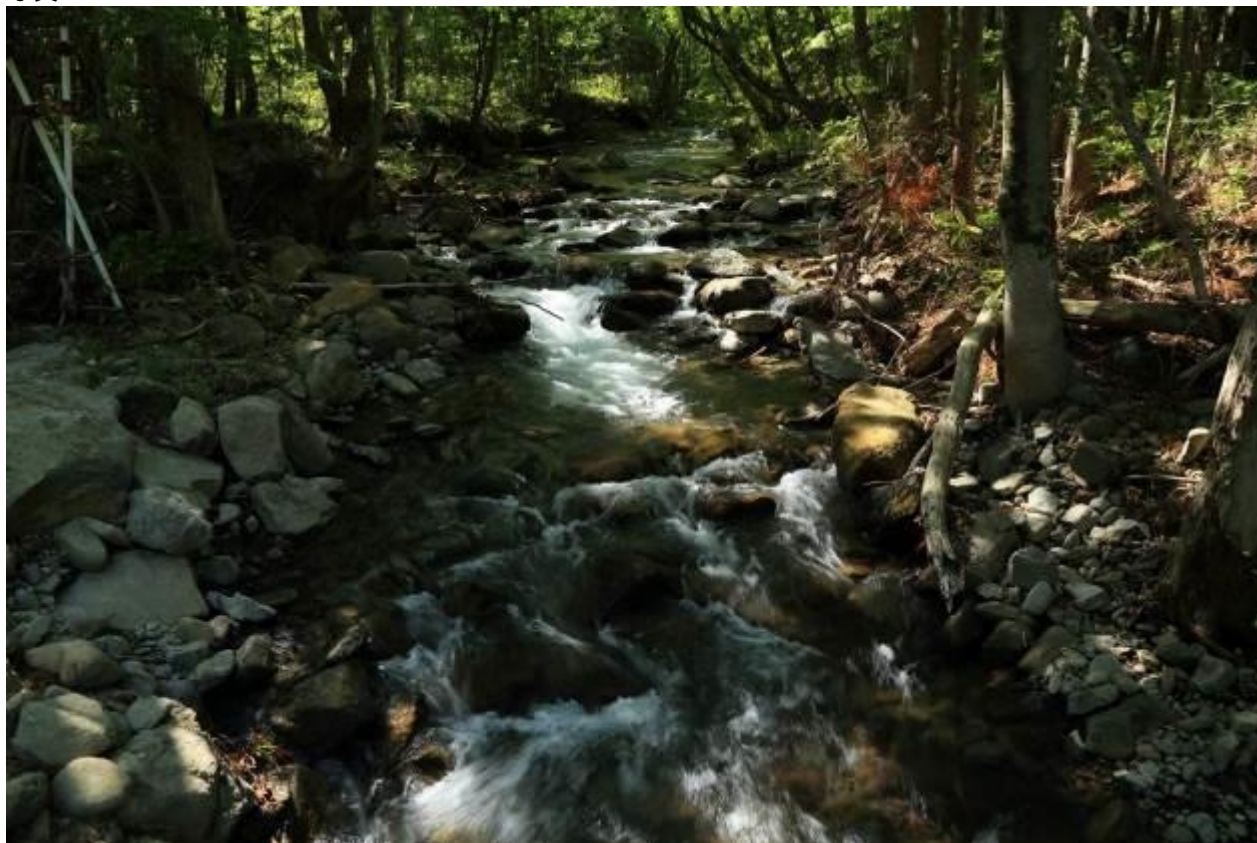


表2-32 カジカガエル生息確認調査結果(七14)

水系	番号	地名等	調査日時	天候
七北田川	七14	泉区福岡、七北田ダム上流	2017年6月11日、10:50~11:15	晴れ
生息	有り	鳴き声(4)・目撃(成体: 幼体: 幼生: 卵: )		
生息環境	石の突き出た瀬(多・中・少・無)、石河原(有・無)、周辺樹林との繋がり(有・無)、水質(良・中・不良)、護岸(有・一部有・無)、総合判定(最適・適・中・やや不適・不適)			
アクセス性	アプローチ(良・中・不良)、鳴き声確認のしやすさ(良・中・不良)、駐車スペース(有 台可・無)、観察会収容人数(10人)			
親水性	景観(良・中・不良)、騒音(多・中・少)			
備考	七北田ダム上流の本川。石の突き出た瀬が多く、礫河原があり、周囲の樹林とも連続している。カジカガエルの生息場所として良好な環境であるが、アプローチのための林道が崩れていて、車両でのアクセスは出来ない状態である。 ヒヨドリ、ウグイス、ノジコ、エナガ、ハシブトガラス、ホトトギスを確認			

写真



## 2-3 市民情報によるカジカガエルの確認位置

現地調査と並行して、市ホームページ等を通じ、市民からカジカガエルの生息情報を募ったところ、表2-33、及び図2-3に示すとおり、36件（同一箇所の重複や大まかな地名情報のみを含む）の情報が寄せられた。36件中29件が広瀬川水系やその支流での生息情報であり、中でも市中心部にほど近い、青葉山周辺の情報が多かった。名取川水系の二口溪谷、秋保温泉付近や、太白山周辺を流れる支流の笹川での生息情報が6件得られた。なお、現地調査の結果と同様に、七北田川水系では生息数が少ないことが示唆された。

表2-33(1) 市民から寄せられたカジカガエルの生息情報一覧

No	確認日	確認時刻	水系	場所	座標
1	2017/4/29	9:30 頃	広瀬川	青葉区川内追廻付近(竜の口) 青葉山テニスコート奥の沢	38.250186, 140.858728
2	2017/5/3	10:00-15:00 頃	広瀬川	愛宕堰下流の瀬	38.245172, 140.882022
3	2017/4/25	17:00-18:00 頃	広瀬川	八幡6丁目	38.268257, 140.837436
4	2017/4/25	16:00 頃	広瀬川	牛越橋	38.266173, 140.844117
5	2017/5/6	18:00-19:00 頃	広瀬川	赤門	38.237235, 140.815466
6	2017/5/3	-	名取川	太白山自然観察の森	38.229091, 140.829363
7	2017/4/28~	毎日	名取川	太白区御堂平10-45 自宅の前の 笹川	38.260036, 140.859071
8	2017/5/18	12:30 頃	広瀬川	国際センター駅2階テラスから	38.247523, 140.859071
9	2017/4/28	15:50 頃	広瀬川	青葉区土樋	38.237235, 140.874386
10	2017/5/19	8:00 頃	名取川	太白区自然観察の森のすぐ裏 の川	38.334118, 140.815466
11	2017/5/15	6:00 頃	広瀬川	作並温泉 岩松旅館の露天風呂	38.278616, 140.612032
12	2017/5/22	8:30 頃	広瀬川	芋沢川(仙台市青葉区向田入口の 明仙橋付近) 向田線	38.246647, 140.791002
13	2017/5/20	10:30-10:45	広瀬川	米ヶ袋3丁目と向山2丁目に挟まれた 区間(広瀬川左岸側の散策道を県工業 高から縛り地蔵尊の少し手前の区間)	38.291478, 140.871701
14	2017/5/22	日中	広瀬川	熊ヶ根橋の下	38.247099, 140.686729
15	2017/5/23	夕方~	広瀬川	青葉区土樋 広瀬川愛宕緑地	38.262096, 140.874101
16	2017/5/19~	19:30 頃	広瀬川	仲ノ瀬橋上流	38.247418, 140.860113
17	2017/5/22	19:00 頃	広瀬川	米ヶ袋3丁目 工業高校付近	38.250186, 140.869103
18	2017/5/22	20:30 頃	広瀬川	青葉区川内追廻付近(竜の口) 青葉山テニスコート奥の沢	38.23104, 140.858728
19	2017/5/28	9:00 頃	名取川	秋保温泉閣自然公園 名取川	38.275014, 140.710815
20	2017/5/31	15:00 頃	広瀬川	大沢橋上流(スーパーマーケットの 駐車場から)	38.257971, 140.792396
21	2017/6/6	19:00 頃	広瀬川	広瀬川 大橋下	38.250186, 140.860152
22	2017/6/6	19:15 頃	広瀬川	青葉山テニスコート奥	38.277463, 140.858728
23	2017/6/6	日中	広瀬川	落合三丁目付近	38.238102, 140.782682
24	2017/6/8	21:00 頃	名取川	笹川(佐保山、太白山自然観察の森より 200mほど、調整池)	38.250186, 140.819835

表2-33(2) 市民から寄せられたカジカガエルの生息情報一覧

No	日付	確認時刻	水系	場所	座標
25	2017/6/11	11:00 頃	広瀬川	広瀬川 鳴合橋下流 西仙台病院付近	38.275439, 140.744493
26	2017/6/12	19:15 頃	広瀬川	牛越橋	38.266901, 140.843647
27	2017/6/12	19:15 頃	広瀬川	牛越橋下流、川内三十人町付近	38.264888, 140.845616
28	2017/6/12	19:00 頃	広瀬川	広瀬川澱緑地(宮城県知事公館前)	38.266875, 140.857289
29	2017/6/12	19:15 頃	広瀬川	広瀬川澱緑地 ゲートボール場付近	38.265246, 140.854494
30	2017/6/14	11:00 頃	広瀬川	片平公園	38.253233, 140.86955
31	2017/6/17	10:30 頃	広瀬川	大倉ダム周辺(青下川支流?)	38.319876, 140.678969
32	2017/6/20	15:00 頃	広瀬川	青葉区新川字土手下(新川川)	38.305939, 140.629232
33	2017/6/29	21:00 頃	広瀬川	芋沢川(仙台市青葉区向田入口の明仙橋付近) 向田線	38.278616, 140.791002
34	2017/7/1	21:00 頃	名取川	太白区秋保町馬場字本小屋(名取川支流の太行沢)	38.273739, 140.544258
35	2017/7/9	15:00 頃	広瀬川	広瀬川 宮城県工業高校付近(米ヶ袋)	38.247188, 140.869642
36	2017/5/18	16:00 頃	鳴瀬川	いずみ墓園入口ゲート付近の沢	38.374970, 140.807176

※ 座標(位置情報)は、寄せられた情報を参考に求めたものであるため、実際に市民が確認した地点からずれている場合がある。

## 2-4市内におけるカジカガエルの生息確認位置

現地調査結果及び市民から寄せられた生息情報を合わせた仙台市内におけるカジカガエルの生息確認位置は、図 2-4 に示すとおりである。

広瀬川水系では上流域から市街化された地域まで広く見られ、名取川では上流域から中流域まで生息していることが分かった。一方、七北田川においては、本川では生息地点が見つからず、支流と七北田ダム上流側の 2 箇所のみ確認であった。

この他、鳴瀬川水系の宮床川の支流において 1 箇所のみ確認された。

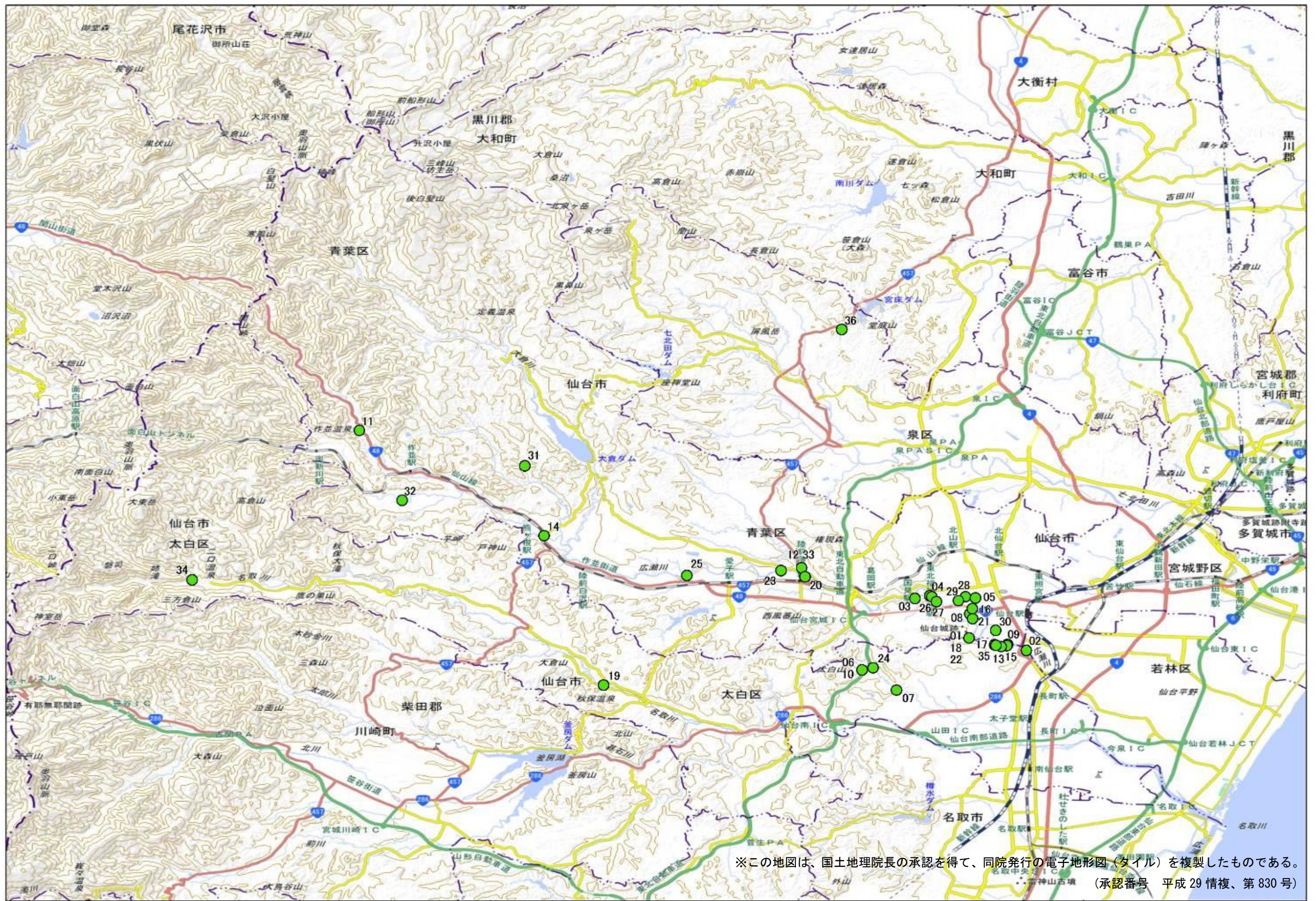


図2-3 市民情報によるカジカガエル確認地点 ● 確認地点



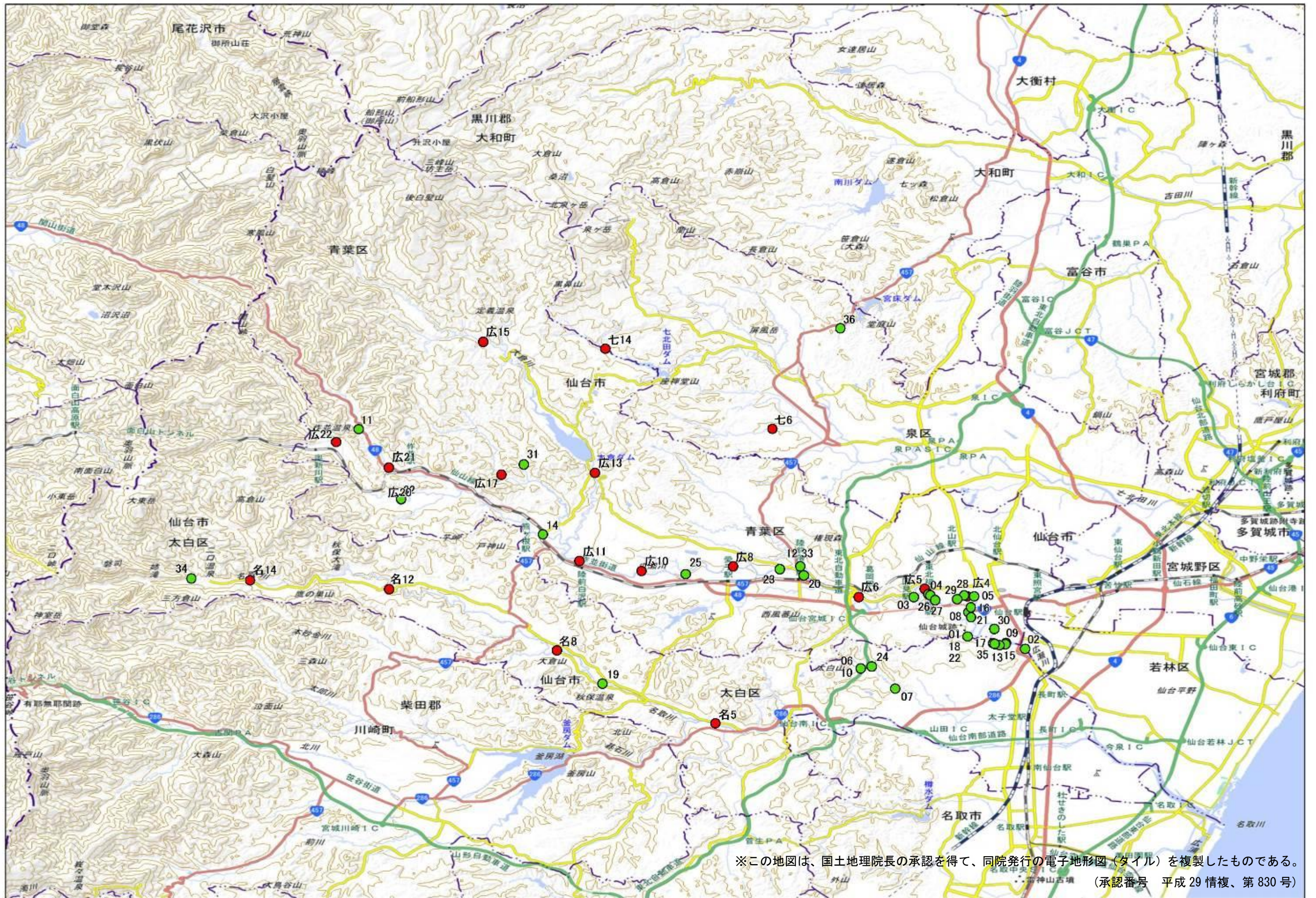


図2-4 市内におけるカジカガエル生息確認地点 ● 現地調査 ● 市民情報



## 2-5 カジカガエルの鳴き声の録音結果

現地調査によりカジカガエルが確認されたのは30地点中18地点であり、その中で鳴き声  
が確認されたのは16地点であった（残り2地点は目視による確認）。これらの鳴き声が確認  
された全ての地点（16地点）において、鳴き声の録音を行った。録音に用いたのは一般に  
会議の録音等に使用されるICレコーダーであり、一部の地点では一眼レフデジタルカメラ  
により動画と共に音声の記録を行った。

ただし、鳴いている場所が離れていた、川の音に比べて鳴き声の音量が弱い、短時間の  
鳴き声であった等の理由から録音できなかった箇所もあり、実際に録音できたのは表2-34  
に示す9地点であった。これらの音声データ、一部画像データは、巻末に添付した。

表2-34 カジカガエルの鳴き声のデータ一覧

地点名	録音メディア	録音日	ファイル形式
広瀬川6	ICレコーダー	2017/6/9	MP3形式
広瀬川13	ICレコーダー	2017/5/20	MP3形式
広瀬川20	ICレコーダー	2017/6/4	MP3形式
広瀬川22	ICレコーダー	2017/6/4	MP3形式
名取川5	ICレコーダー	2017/5/7	MP3形式
名取川8	デジタル一眼レフカメラ	2017/5/18	Quick Timeムービー
名取川12	デジタル一眼レフカメラ	2017/5/18	Quick Timeムービー
名取川14	ICレコーダー	2017/6/4	MP3形式
七北田川6	ICレコーダー	2017/5/19	MP3形式



岩上で鳴くカジカガエル(2017/6/9名取川)

## 2-6 ドローンによる動画撮影の結果

カジカガエルが多く確認され、仙台市内における代表的かつ良好な生息地となっている「名取川 8」の地点（太白区秋保町境野羽山付近）において、小型無人機（ドローン）による河川の空中撮影（動画撮影）を行った。撮影方法はカジカガエルの生息場所となっている河川沿いを、地上高約 2m の高度で上流に向かって飛行した後、高度 50m まで上昇して下流方向に飛行しながら撮影するというものである。撮影にあたっては DJI 社の「Phantom 3 Professional」を使用した。

撮影した動画は巻末に添付すると共に、撮影した動画から代表的な地点の写真を切り出し、以下に示す。

表 2-35 ドローンによる動画撮影の実施状況

撮影日	撮影時間
平成 29 年 8 月 1 日	7:00～8:35



撮影中のドローン(DJI 社の Phantom 3 Professional を使用)



#### ドローンによる撮影画像 1

写真下端中央から右側にかけての、水中から石が突き出た箇所には特に多くのカジカガエルが見られ、鳴き声が確認された。なお、写真左側のツルヨシの生育する水際は、流れが緩やかであるため、出水等の際の幼生の避難場所として重要である。



#### ドローンによる撮影画像 2

当概地区の中では流れの早い区間である。左側の浅瀬には7月頃に多数の幼生が見られたほか、撮影当日（平成29年8月1日）には、右岸側の岩陰で幼生から変態したばかりの1.5cm前後の幼体（子ガエル）が複数見られた。



ドローンによる撮影画像 3

高度 50m からの全景。流れの変化に富み、水面から岩が突き出た瀬や礫河原が広がっているほか、水辺と周辺の樹林とが一体となっており、川沿いに広く連続しているのが分かる。水質も概して綺麗であり、水面に陽が射すので、カジカガエルの幼生の餌となる付着藻類も十分に育つことが出来る。カジカガエルの生息環境として理想的な環境と言える。

### 3 考察

#### 3-1 カジカガエルの繁殖について

カジカガエルの鳴き声は繁殖期に聞かれ、繁殖のために河川に集まった雄は、流れの中にある岩の上などに縄張りを構えて、「フィフィフィ・・・」と聞こえる美しい声で鳴き、雌を誘引する。鳴き声は日没後の夜間に活発になるが、繁殖のピーク時には朝夕を中心に日中にも鳴き声が聞かれる。繁殖時期は、雪解け水が納まった頃から始まり、仙台市内においては、早い場所では概ね4月下旬頃から、7月頃まで鳴き声が聞かれ、繁殖のピークは5月下旬～6月上旬頃である。

繁殖期には、夜になって雄のいる岩に雌が近づくと、雄が飛び乗るようにして雌の背中にしがみつき、雌は雄を背負ったまま水中の岩の隙間などに産卵する。1回の産卵数は200～600個前後と言われている。

卵は数日～十数日程度で孵化し、幼生（オタマジャクシ）は水底に沈んだ石等に付いた付着藻類を食べて成長する。餌となる藻類は浅瀬に多いため、カジカガエルの多い河川では岸際の浅瀬にビッシリと幼生が並ぶ様子も見られる。幼生は口器が吸盤状になっていて、石に貼りつくようにして流されるのを防ぐことが出来るほか、体に比べて相対的に尾が長く、遊泳力にも適している。

幼生が変態して上陸する時期は水温や餌の量によっても左右されるが、一般には7月～9月頃とされる。本調査においては、7月14日に、名取川中流部（名8）で幼体の上陸を始めるのが確認された。同箇所では8月1日には水の中に幼生が見られなくなっていたことから、7月中には変態・上陸を終えたと考えられる。

上陸した幼体は水際付近で過ごし、尾が完全に吸収されると、川を離れて、周辺の樹林や崖地等で生活するようになる。その後、雄は産まれた翌々年に成熟し、繁殖期になると川にやってきて繁殖活動を開始する。雌の成熟は更に遅く、4年目に成熟して繁殖を開始すると考えられている。



夜間に岩上で鳴くカジカガエルの雄(2017/7/15 名取川)



抱接するカジカガエル(2017/6/3 名取川)  
上が雄で下が雌 (カジカガエルは雌の方が顕著に大きい)



カジカガエルの幼生(2017/6/23 名取川)



カジカガエルの幼生(左の2個体)と変態したばかりの幼体(右)(2017/7/14 名取川)

カジカガエルは産卵時期が長いため、写真のように同じ川でも様々な成長段階の幼生、幼体が見られることがある。



カジカガエルの幼体(2017/7/14 名取川)

変態したばかりで、まだ尾が僅かに残っている

### 3-2 市内におけるカジカガエルの生息状況

仙台市内におけるカジカガエルの生息する主な河川は、広瀬川、名取川、七北田川の各水系である。それぞれの水系ごとの状況は以下のとおりである。

#### (1) 広瀬川

広瀬川は一級河川名取川の支流であり、流域の全てが仙台市内を流れている。仙台市中心部を流れる清流として知られ、仙台市のシンボルともいえる河川である。上流域の渓谷部から中流域にかけて段丘崖がよく発達し、市街地に近い場所においても自然の断崖と段丘斜面の樹林がよく残された自然豊かな河川である。

広瀬川では、1960年代頃に、水質汚濁等によりカジカガエルが一時姿を消してしまったが、1968年から3年間、栗駒町の小中学生が捕獲したカジカガエルを放流し、あわせて排水の規制や下水道の整備等による水質保全に努めたことにより、定着し増えて行ったと言われている（参考文献：「宮城県の両生類・は虫類」宮城野生動物研究会、2000年）。

カジカガエルの生息域は、上流部の作並温泉付近から、仙台市中心部にほど近い愛宕橋付近まで、上流域から中流域にかけて広く生息している。このほか支流である大倉川、新川川、芋沢川等においても生息している。現地調査においても14地点中12地点で確認され、市民から寄せられた生息情報でも、36件中30件が広瀬川であった。

広瀬川では、とりわけ中流域にあたる青葉山周辺での生息情報が多く、人口100万人以上もの大都市でありながら、市街地付近でもカジカガエルが生息していることが大きな特徴となっている。

#### (2) 名取川

名取川は仙台市南部を流れる一級河川名取川の本川であり、仙台市、名取市のほか、流域の一部には川崎町、村田町、岩沼市が含まれている。上流域には二口渓谷があり、磐司岩、秋保大滝等の名所や、秋保温泉郷を有するほか、河川沿いの多くは山林や農地が広がっているなど、仙台市内の河川の中でもとりわけ自然度が高く、自然景観にも優れた河川である。

カジカガエルは、上流部の二口渓谷付近から中流域である秋保温泉のやや下流にかけての範囲に生息しており、とりわけ秋保温泉付近から二口渓谷付近までには数多く生息している。現地調査では7地点中4地点で確認された。1地点あたりの生息数が多く、とりわけ「名8」の地点では現地調査を行った全地点の中で最も生息数が多かった。

なお、名取川では、過去にカジカガエルが人為的に放流されたという実績が無く、この地域に昔から生息しているカジカガエル個体群が今も根付いていると考えられる。この点でも貴重な生息河川と言える。

#### (3) 七北田川

七北川は仙台市の北東部を流れる二級河川であり、流域の大半は仙台市であるが、下流



域の一部には多賀城市も含まれる。上流域は山林に覆われた渓谷になっており、中流域は段丘崖となっているが、河道の幅が総じて狭く、出水等による水位の増減が大きいことが想定される。また、中流域は周囲に水田等の農地や住宅が多いことが特徴となっている。

本調査で確認されたカジカガエルの生息地点数は、3つの水系の中で最も少なく、現地調査では10地点中2地点の確認であった。また、市民から寄せられた生息情報においても、七北田川水系の生息情報は得られなかった。

七北田川は前述したように河道の幅が狭く、出水等の際に流されやすいと考えられることや、周囲の樹林の連続性の面で欠けることなどから、カジカガエルの生息・繁殖の場としては、やや不向きな面があると考えられる。また、七北田川水系の支流は農地や住宅地を流れる水量の乏しい河川が多く、これらについてもカジカガエルの生息にはやや厳しい環境と考えられる。

### 3-3 自然体験の場としての評価

現地調査結果に基づき、カジカガエルの生息数や生息環境としての評価に加え、当該生息地点のアクセス性（観察のため水際付近まで行きやすいか）、親水性（景観の状況や騒音の有無）、観察者の収容可能人数等を踏まえ、各調査地点について、自然体験の場としての評価を行った。これらの結果を表 3-1 に示す。

広瀬川水系では「広 4」、「広 5」、「広 22」の各地点、名取川水系では、「名 8」、「名 12」の各地点が、自然体験の場として最も適していると評価した。また、「広 6」、「広 21」、「名 5」、「名 14」等も適していると評価した。

一方、七北田川水系では、広瀬川、名取川と比較して自然体験の場として適した場所がほとんど無く、適した地点としては「七 6」の地点程度であった。

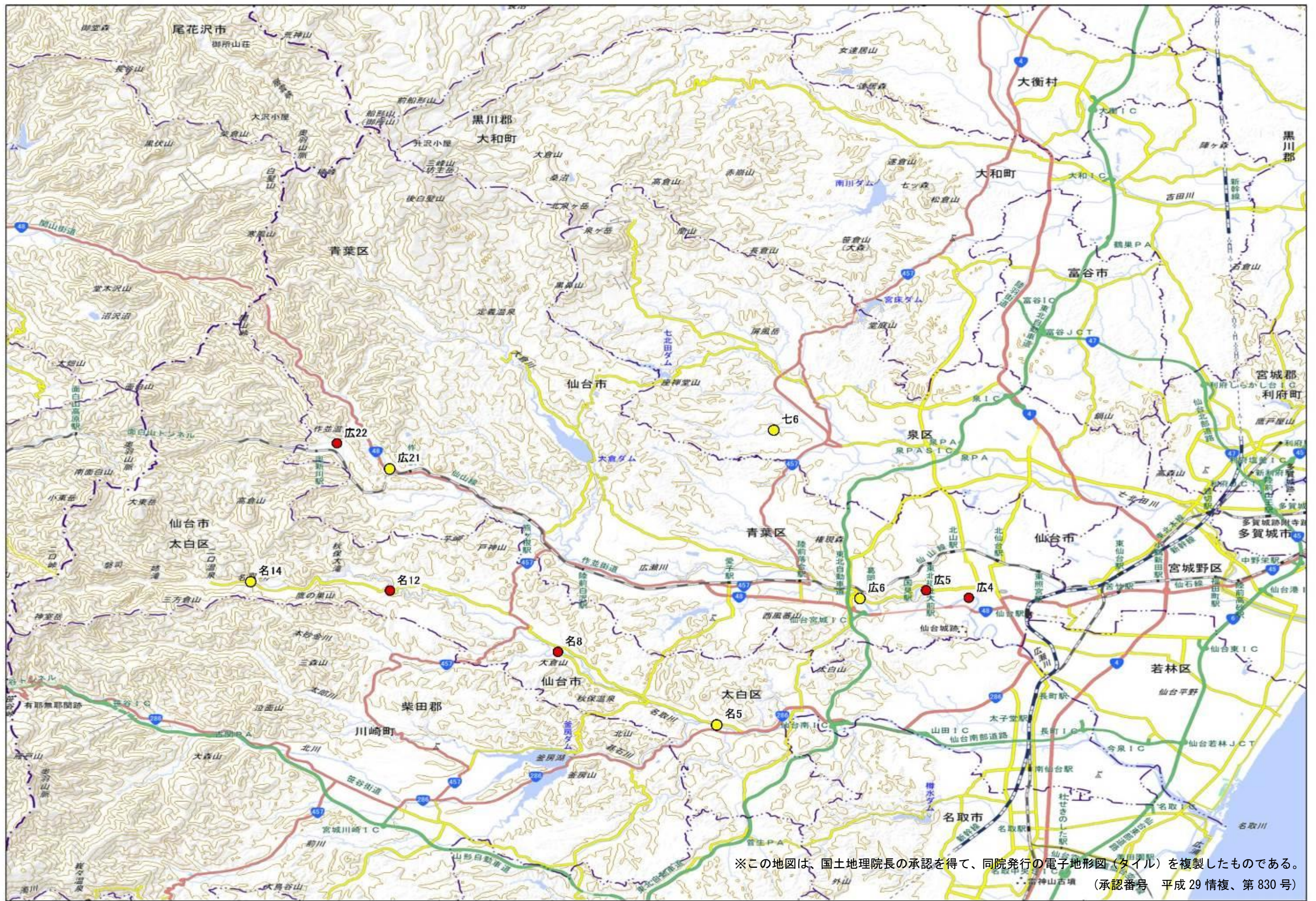
これらの位置を図 3-1 に示す。

表 3-1(1) 各調査地点の自然体験の場としての評価

河川	地点番号	カジカガエル確認数	生息環境としての評価	アクセス性	親水性	収容可能人数	自然体験の場としての評価
広瀬川	広 1	-	△	○	△	20	×
	広 4	5	○	○	○	30	◎
	広 5	6	○	○	○	30	◎
	広 6	2	○	○	○	15	○
	広 8	3	○	△	△	0	×
	広 10	1	○	○	×	5	×
	広 11	1	○	○	○	15	△
	広 13	4	○	△	△	15	△
	広 15	3	○	×	○	30	△
	広 17	1	○	○	○	10	△
	広 19	-	○	×	○	10	×
	広 20	6	◎	△	○	10	△
	広 21	4	○	○	△	30	○
	広 22	6	◎	◎	◎	15	◎
名取川	名 2	-	○	○	○	30	×
	名 4	-	×	×	△	5	×
	名 5	6	○	○	○	20	○
	名 8	20	◎	◎	◎	15	◎
	名 11	-	△	○	△	20	×
	名 12	4	◎	○	○	20	◎
	名 14	5	○	○	○	10	○

表 3-1(2) カジカガエルを通じた自然体験・自然学習の場としての適否

河川	地点番号	カジカガエル確認数	生息環境としての評価	アクセス性	親水性	収容可能人数	自然体験の場としての評価
七北田川	七2	-	△	○	○	10	×
	七4	-	△	○	○	10	×
	七6	2	○	○	○	10	○
	七7	-	×	○	○	10	×
	七8	-	△	○	△	10	×
	七11	-	○	△	○	0	×
	七12	-	×	○	○	10	×
	七13	-	△	○	○	5	×
	七14	4	○	△	○	10	△
<p>凡例</p> <p>◎：特に適している、○：適している、△：あまり適していない、×不適である。</p> <p>カジカガエル確認数：鳴き声や目撃数を実数で記述</p> <p>アクセス性：河川敷への降りやすさ、鳴き声の観察のしやすさ</p> <p>親水性：景観の良さ、人工音の有無等を考慮</p> <p>収容人数：観察会等を実施した場合、何人程度収容できるかをおおよその実数で記述</p>							



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。  
 (承認番号 平成 29 情複、第 830 号)

図3-1 自然体験の場としての評価 ● 特に適している ● 適している

### 3-4 カジカガエルの保全に向けて

カジカガエルが生息するための環境条件としては、主に以下の点が挙げられる。

- ・ 繁殖場所、幼生の生活場所となる河川と成体の生息場所となる森林とが連続し、一体となって保全されていること。河川と森林との間に、交通量の多い道路や、護岸された水路等の障害物がないこと。
- ・ 雄が縄張りを構えて雌を呼ぶ鳴き声を発するための、水中から突き出た石が多い開けた瀬があること。
- ・ 開けた明るい河川で、水質が綺麗であり、水底まで光が十分に届き、幼生の餌となる付着藻類が十分に生育できる河川であること。
- ・ 幼生は水中の岩に付着した藻類を餌とし、岩などに貼りつくようにして休息するため、底質は砂や泥ではなくて岩や礫であることが望ましい。
- ・ 幼生は流れの中で生息するのに適応しているが、大規模な出水等があると流されてしまうこともあるため、平水時の生息場所となる水深の浅い瀬の他に、大雨の際に避難できる緩流部（水際の抽水植物群落）、流れの緩衝部となるような淵などがあるなど、流れの変化に富む多様な河川であることが望ましい。

本調査の結果、現在、仙台市内のカジカガエルは、概ね良好な生息状況にあるものと考えられた。今後もカジカガエルの鳴き声が響く良好な環境を保全するためには、上記の生息環境の条件に留意し、その生息環境を維持・保全することが重要である。

具体的には、保水力が高い広葉樹を含め、周囲の森林環境を保全し、河川の水位の安定性を維持することが望まれる。

また、水の濁りが生じるとカジカガエルの幼生の餌となる付着藻類の生育を阻害してしまうため、河道内の工事など、長期間にわたって水の濁りを発生させるような行為は極力避けることが望ましい。特にカジカガエルの幼生の生息期間である5～7月には注意が必要である。

カジカガエルの鳴き声の美しさや、大都市でありながら、市街地付近でもカジカガエルが生息している本市の良好な環境について、市民の理解や関心を深めることも重要である。今後も、ホームページやポスター、観察会等を通じた啓発に努めることが望まれる。

